

昭和から続く北海道えりもの天日干し日高コンブの生産と藻場再生によるCO₂吸収

えりも町・えりも漁業協同組合・えりも岬の緑を守る会



● プロジェクトの概要

植樹や雑海藻駆除を通じて海域環境を改善し、持続可能なコンブ漁業によるCO₂吸収を促進します。

植樹と環境保護

えりも町では植樹活動を行い、海岸線の緑化を推進しています。この取り組みは、流出する土砂を減少させ、海域環境の改善に寄与しています。



【植樹活動（植樹祭）】

雑海藻の効果的な駆除

漁業者は雑海藻の除去作業を行い、海藻の着生基質を改善しています。これにより、健康なコンブ藻場の維持と繁殖が促進されます。



【雑海藻駆除（チェーン振り）】

持続可能な漁業管理

CO₂吸収を最大化するため、漁期を短縮しつつ手作業での漁法や天日干しを採用し、環境への影響を最小限に抑えています。



【環境教育（えりも町海岸）】



【コンブ干し（天日干し）】

● 令和6年度活動報告（抜粋）

えりも町	:	資源量調査、環境教育、広報・普及
えりも漁業協同組合	:	資源量調査、維持管理
えりも岬の緑を守る会	:	植樹活動、環境教育への協力

● 今後の活動計画

引き続き、現在までに行ってきた活動を継続しつつ、脱炭素化に向け取り組んでいきます。また、サステナブルな漁業管理、クレジット収入を活用した藻場保護策による持続可能な地域貢献と北海道初の天然コンブ活用ブルーカーボン事業・藻場研究を推進します。